

組付要領書及び部品表

Takakita

コンポキャスト 用
残量センサーアタッチ

CC-K3

適用機種

CC6001D : 214号機～

CC6002D

CC8001D : 79号機～

CC8002D



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本組付要領書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本組付要領書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**残量センサーアタッチ**の組付要領について記載しております。組付前には必ず、この組付要領書をお読みのうえ、正しく組付けてください。

また、ご使用前にはコンポキャスト本体の取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付の点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

残量センサーアタッチの組付け	1
各部の名称とはたらき	3
運転に必要な装置の取扱い	4
配線図	5

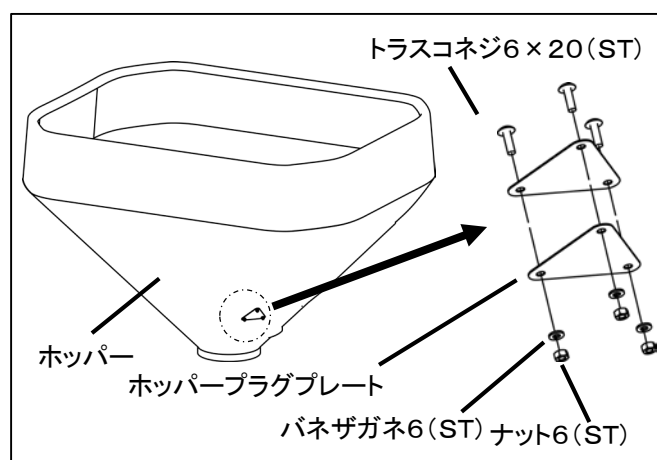
残量センサーアタッチの組付け

このたびは残量センサーアタッチをお買い上げいただき、ありがとうございました。
組付け前には、必ずこの組付要領書をお読みのうえ、正しく組付けてください。

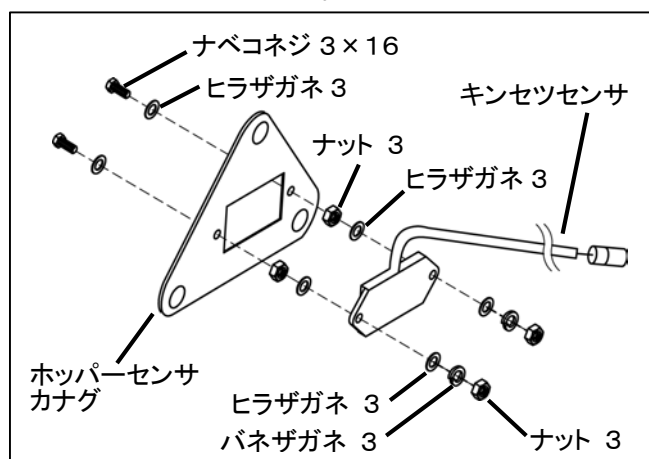
- 開梱されましたら、組付前に部品表の部品が全て含まれているかご確認のうえ、組付けを行ってください。

◆組付け手順

- ①本体ホッパーに組付いているホッパープラグプレートを取り外してください。

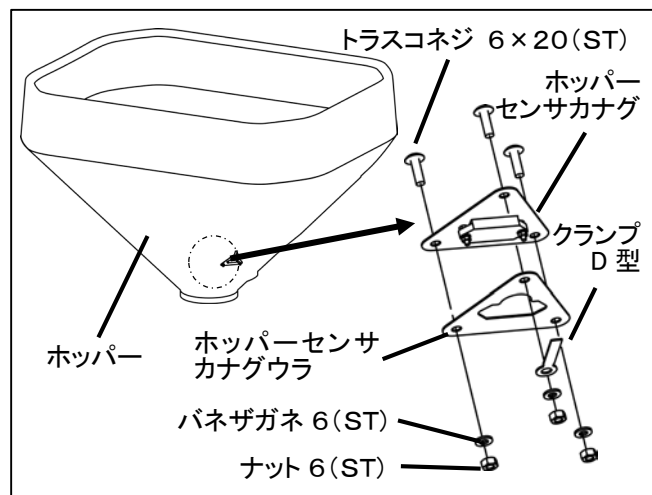


- ②ホッパーセンサカナグにキンセツセンサを組付けてください。



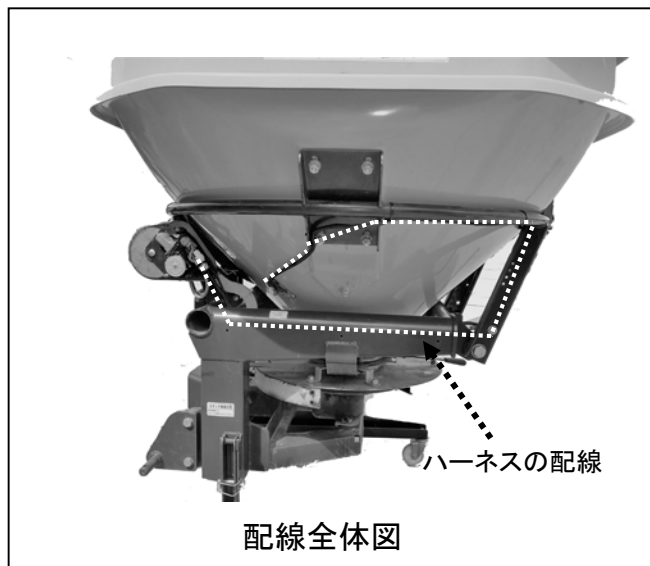
- ③ホッパーセンサカナグをホッパープラグプレートが組付けられていた位置に取り付けてください。

その際、ホッパーが割れないように締め付けトルク 24N・m でボルトを締め付けてください。

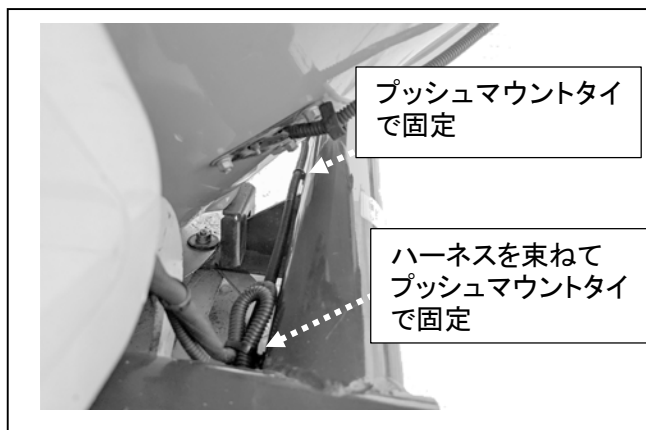
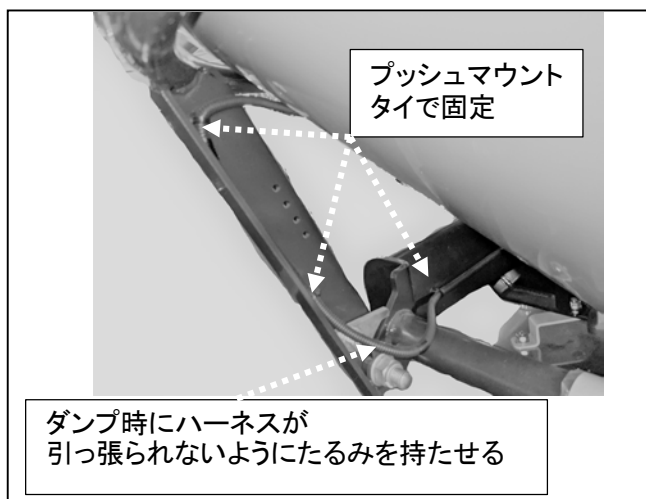
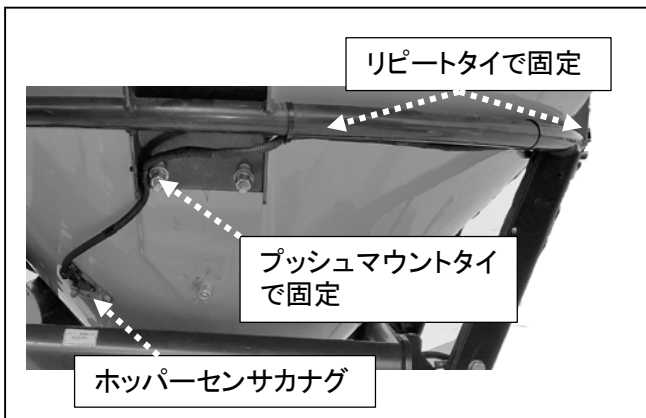
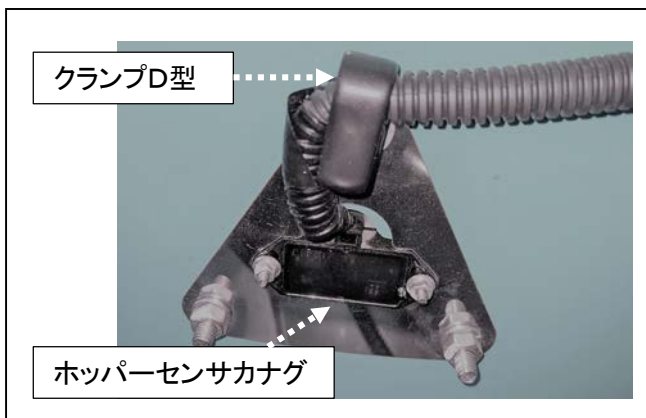


残量センサーアタッチの組付け

- ④プッシュマウントタイ・リピータイを使用して、キンセツセンサのハーネスを本体に固定してください。



- ホッパーセンサカナグからの配線は以下の要領で行ってください。

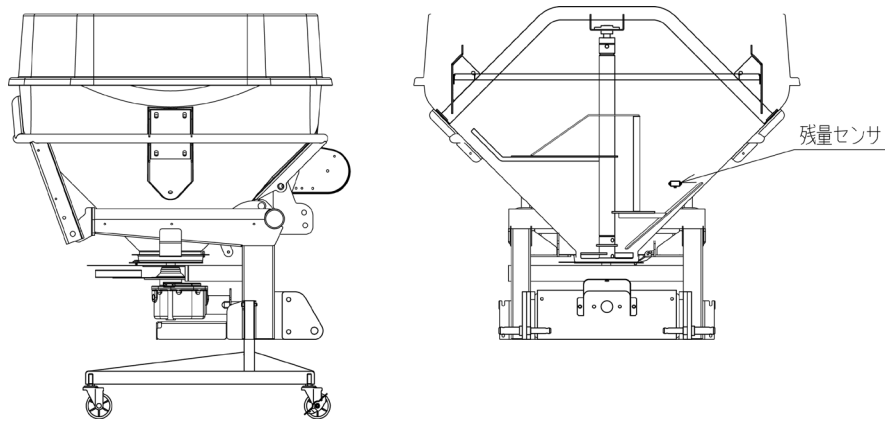


- ⑤コントロールボックスを接続して、シャッターを動作させ、配線に余裕があること、擦れたり挟まれたりしていないかを十分に確認してください。その後カバーを取り付けてください。

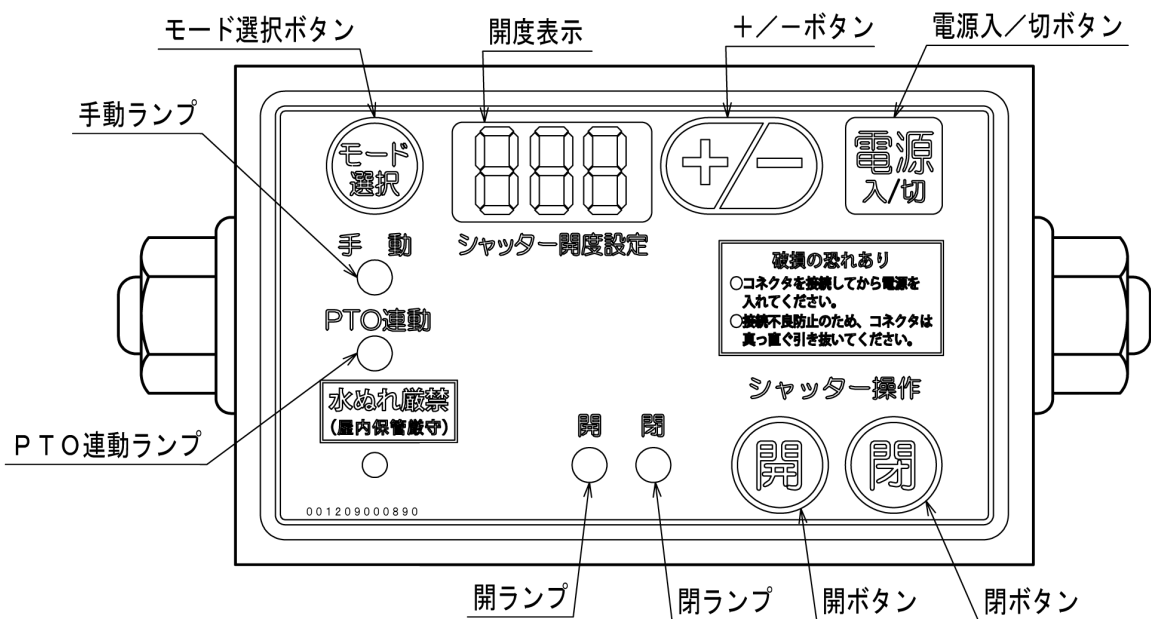
⚠ 警告

コードに傷がつくと正常な動作が行われず
思わぬ事故をおこすおそれがあります。

各部の名称とはたらき



名 称	は た ら き
残量センサ	肥料が残りわずかになった際に反応するセンサ



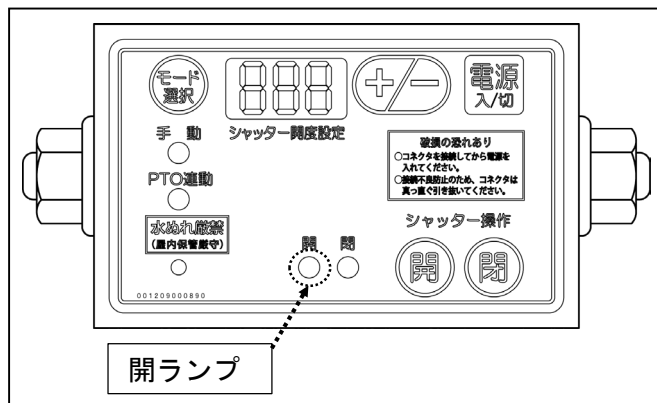
名 称	は た ら き
電源入/切ボタン	電源の入切をする
+/-ボタン	シャッターの開度を設定する ※
開度表示	シャッター開度[%]を表示する
モード選択ボタン	手動、PTO連動のモード切替をする ※
手動ランプ	手動モードの時に点灯する
PTO連動ランプ	PTO連動モードの時に点灯する
開ボタン	設定開度までシャッターを開ける
開ランプ	シャッター開時に点灯する
閉ボタン	シャッターを閉じる
閉ランプ	シャッター閉時に点灯する
お知らせブザー	開ランプが点灯している状態で、残量センサ位置以下に肥料が減った場合に、ブザーが断続音で肥料が残り少ないことをお知らせする

※電源入/切ボタンで電源をOFFにすると開度設定の値・モードを記憶します。

運転に必要な装置の取扱い

1. 残量センサ

開のランプが点灯している状態では、残量センサが反応すると、間隔の長い断続音で肥料が残り少ないことをお知らせします。シャッターを閉じて、ホッパーに肥料を投入してください。



注意

むやみな設定変更は動作不良に繋がりますので、絶対にしないでください。

注意

肥料の水分が多く残量センサ上に肥料が貼り付いたり、雨等による水濡れにより残量センサが機能しない場合があります。その際には、センサ上面に貼り付いた肥料を取り除き、センサ上面の水分を拭き取り乾燥させてください。

コントロールボックスの パルス数の設定について

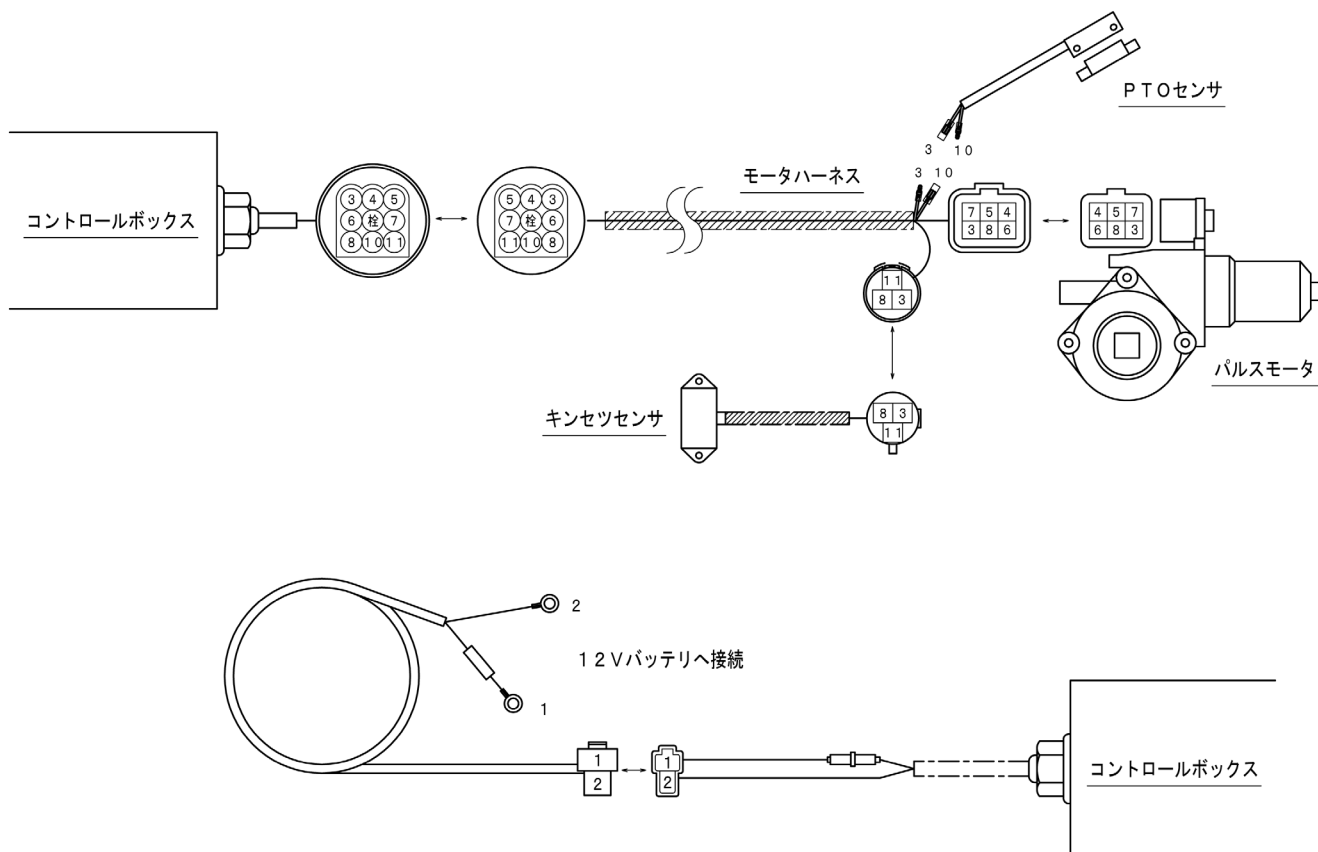
コントロールボックスを交換する際は、パルス数(シャッター全開位置)が既定の値に設定されていないため、以下の方法で再設定を行ってください。

- [開]ボタン、[閉]ボタンを両方押しながら、電源[入/切]ボタンを1秒以上押して電源を入れてください。
- [開]ボタン、[閉]ボタンを離し、ボックス上部の表示が「5 9 9」となっていることを確認してください。
- 違う数字が表示されている場合は、[+]ボタン、または[-]ボタンを押して「5 9 9」に設定してください。
- 電源入/切で電源を切ると、設定を記憶します。

配線図

1. 残量センサーアタッチ

No	線 色	名 称	No	線 色	名 称
1	白	12V	8	緑	12V
2	黒	アース	9		
3	茶	アース	10	青	PTO
4	白	モータ逆転	11	オレンジ	残量
5	赤	ハ°ルス A	12		
6	黄	ハ°ルス B	13		
7	黒	モータ正転			



※各配線の線色は予告なく変更になる場合があります。